

江戸の粋と、清水港の元気さで 楽しく「かっぱれ」で仲間づくり

江戸芸かっぱれ準師範 櫻川梅清士さん



「かっぱれ! かっぱれ! ヨーイトナ、ヨイヨイ!」

昨年開催された国文祭の健生しずおか主催「芸&達人大会」プログラムのとおとりで、口上へ続き、掛け声よろしく仲間と共にかっぱれを披露した櫻川梅清士さん。江戸芸かっぱれ準師範で、25歳にして芸歴20年!

江戸芸かっぱれは、東京の浅草で踊られていた江戸の伝統芸(お

座敷芸)。

「静岡でかっぱれは、22年前に江戸芸かっぱれ豊年齋五代家元の櫻川びん助師匠が振り付けをした、清水みななど祭り「港かっぱれ」カッポレファンク」でおなじみですね」

男の粋でいなせな踊りと秀麗な舞を異にする、穏やかで優しい口調の梅清士さん。そのみなと祭りで師匠の踊りに出合い5歳で入門。最年少の小学6年生(12

歳)で名取に。昨春から清水区生涯学習講座「単に踊るだけでなく、振り付け本来の意味を大切にしながら、かっぱれの粋と艶っぽさなどを若い世代や多くの人に知ってもらい、一緒に元気に楽しんで欲しい」。ご自身も江戸芸かっぱれの芸域を広げるため、お囃子や三味線ほか、多くのことを学び続けたいと意欲満々です。

さくらがわ うめきよし

清水区在住。本名は真田篤。踊りが好きな祖母の影響やお披露目の時に写真やビデオ撮影をし感想を言ってくれる両親、家族の協力や周りの理解がありかっぱれを続けてこられたと感謝している。高校入試時、面接官の前でかっぱれを踊り、卒業時は先生方の前で披露した思い出も。ありがたいも、かっぱれで年越し。問い合わせは、清水矢倉かっぱれ道場「梅清会」事務局 ☎ 054(366)6300

地元をはじめ、東京や大阪の神社仏閣での奉納行事やイベント、老人ホームの慰問など活動中。「新春1月9日(土)、久能山東照宮で奉納かっぱれが行われます。ぜひ、見に来てほしい」。

(南條亜紀子記者)